

PR

ノイズキャンセリング  
完全ワイヤレスイヤホンDenon  
PerL Pro

¥OPEN

(参考価格¥52,800前後)

▶投票 No.130

SPEC ●通信方式:Bluetooth Ver.5.3 ●対応コーデック:SBC、AAC、aptX、aptX Adaptive (96kHz/24bit)、aptX Lossless (44.1kHz/16bit) ●ドライバー口径:10mm ●連続再生時間:8時間(ケース込み24時間) ●質量:8g(イヤホン片耳)、51.2g(ケース) ●付属品:イヤークリップ(シリコン XS/S/M/L、低反発 1種)、ウイングアタッチメント2種、充電ケーブル

新色  
ホワイトが登場!ノイズキャンセリング  
完全ワイヤレスイヤホン

¥OPEN

(参考価格¥24,200前後)

▶投票 No.131

SPEC ●通信方式:Bluetooth Ver.5 ●対応コーデック:SBC、AAC、aptX ●ドライバー口径:10mm ●連続再生時間:6時間(ケース込み18時間) ●質量:7.4g(イヤホン片耳)、47g(ケース) ●付属品:イヤークリップ(シリコン XS/S/M/L、低反発 1種)、ウイングアタッチメント2種、充電ケーブル



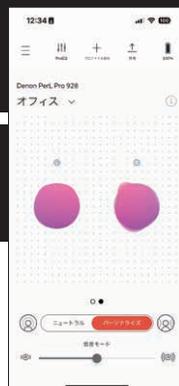
オンリーワンの技術

パーソナライズ機能は  
1年経った今でも買い!

医療用技術を使って耳の聴こえ方を検知し、音を最適化するDenonのPerLシリーズ。発売から1年経った今でも魅力は褪せないのか、編集部が2週間使い込んで検証してみた。

文/編集部・井田有一  
写真/阿部良寛

編集部井田が静かな環境下で測定した結果。イヤークリップの装着性のよしあしで結果が異なったので、なるべくキツめのイヤークリップを選んでほしい。



## 設定後の音が驚くほど瑞々しく良バランス!

同じイヤホンを聴いても、ロコミと自分の音の印象が異なると感じることがないだろうか。実は人の耳のカタチや聴こえ方は千差万別。フィッティングでも聴こえ方は変化するため、体感している音には個人差があるのだ。そこでデノンでは理想とするデノンサウンドを誰でも等しく聴いてほしいというコンセプトで完全ワイヤレスイヤホン「PerL Pro(パールプロ)」と「PerL(パール)」を発売した。

そんなPerLシリーズは発売して1年経つモデルだ。移り変わりの早いジャンルだから、最新モデルと比較して古いと感じる人もいるかもしれない。だがそれは杞憂だ。その理由は独自のパーソナライズ機能「Masimo AAT」を搭載しているからだ。というのもMasimo AATはテストトーンを再生した際に内耳で発生する微弱な音をイヤホン側で検知し、どの音にどれほど敏感に反応したかで個人の耳の聴こえ方を認識。その結果を元に、最適ナリスニングプロファイルを作成するという機能だ。つまりは個人の感覚に頼らず、聴こえ方自体を測定するため「誰でも同じ音」が楽しめるという仕組み。これは

新生児の難聴検査に用いられる医療用技術を応用したもので、デノンのグループ会社「Masimo」だからできたことなのだ。

そんな正確性を売りにするパーソナライズ機能だが、店頭試聴時に注意してほしいことがある。それは「微細な音を集音するため、静かな環境でないとパーソナライズが完璧にならないこと」である。今回の取材ではPerL Proを使って様々な場所で測定を実施。試しに幹線道路沿いで測定を行ったが、筆者の場合は静かな環境で測定したデータよりも低域がたくさん聞こえる結果が出てしまい、再生音のバランスも僅かながら崩れていると感じた次第だ。というのも、正しく設定できると、とにかくバランスがいいサウンドが楽しめるからだ。音の情報量が多く、低域の量はしっかりとありつつブーミーさは皆無。全帯域にわたり瑞々しさを感じさせるサウンドで、非常に音楽が楽しくなる。一方OFFにすると、素性のよさを感じはするもののボーカルが際立つ爽快な解像度重視の音になり、濃密なON時のサウンドを聴いてしまうとOFFにしたいと思う人はいないだろうと思うほどだ。

唯一無二のパーソナライズ機能を持ったPerLシリーズ。本機にしかない確かな魅力があり、それは決して色褪せるものではない。